

郷土愛に満ちたまちづくり

雄武町長 中川原 秀樹

新年明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆さまにおかれましては、
清々しい新春をお迎えのこと、お
慶び申し上げます。

また、口頭は町政に対しご理解と
協力を賜り、心から感謝申し上げます。
昨年を振り返りますと、アベノミ
クス改革の継続により、経済では緩
やかに回復基調が続いている中、9
月に突然の衆議院解散、それを受け
ての総選挙が10月に執行されました。

選挙結果は、自民・公明の連立与
党が圧勝したことにより第4次安倍
内閣が発足、急速に進む少子高齢化
に立ち向かっていくための2つの大
改革「人づくり革命」と「生産性革命」
がアベノミクス最大の勝負としてお
りますので、今後においても地方自
治および地方経済に対する国の動向
には、その行方を注視していかなく
てはなりません。

昨年、本町においては、大きな災
害はありませんでしたが、九州北部
において尊い命が奪われる大きな災
害が発生しておりますので、本町に
おいても、防災対策については万全
を期してまいります。また、北朝鮮
の弾道ミサイルが日本土着を通過し、
史上初めてJアラートが活用される
事態となりましたので、一刻も早く
北朝鮮問題が解決されることを切に
願うばかりであります。

一方、本町では、うれしい出来事

もあり、北海道日本ハムファイター
ズが北海道179市町村を応援する
企画に本町が選ばれ、応援大使となっ
た田中賢選手と加藤貴之選手が来
町するなど、多くの町民がプロ野球
選手を身近に感じることができた一
年でありました。

町内産業に目を転じますと、農業
において、牧草は、春先の干ばつや
夏季の多雨の影響を受け、平年と比
べて減収となりましたが、デントコー
ンは、春先の天候不良による生育の
遅れがみられたものの、後半は持ち
直し平年以上の収量を確保しており
ます。また、生乳については、協業
法人の設立により搾乳戸数は53戸に
減少しましたが、生産量は規模拡大
の効果もあってほぼ平年並みとなっ
ており、補給金制度の改正により生
クリーム等が補給金対象に追加され
たことから、生産額は前年を上回っ
ております。他方、漁業では、主要
魚種の一つでありますホタテ貝は、
計画を上回り3年ぶりに1万トンを
超える漁獲量となったものの、サケ
については、一昨年の不漁をさらに
下回る漁獲量となりましたが、全体
的にはタラバガニやコンブなどの豊
漁もあり、計画を上回っております。
また、漁獲金額については、ホタテ
貝やサケの全道的な不漁を要因とす
る高値に支えられ、計画を大きく上
回っております。また、関連する水
産加工業においては、サケ・マス・

イカの不漁や漁獲物全般の
高騰に加え、平成27年から
のホタテ貝減産により非常に
厳しい状況が続いておりますが、
平成29年からホタテ貝が回
復傾向にありますので、安定的な原料確保に
より早期の経営安定化が図られることを切に
願っております。

さて、本年は、町長として任期2期目の折
り返しを迎え、2期目にあたっての政策理念
であります「人口減少危機を総力で打開する
まちづくり」の実現のための総仕上げに向か
う大切な年でもあります。「地域産業の成長によ
る所得向上と雇用創出」「出産・子育てと高齢
者の夢を叶える大胆な経済支援」「観光と文化・
健康スポーツの拠点づくり」、これら3つの重
要政策のもと、愛する雄武町の明るい未来の
ために「郷土愛に満ちたまちづくり」に全身
全霊を捧げて取り組んでまいります。

また、本年は、町行政の最上位計画であり
ます第6期雄武町総合計画がスタートする年
でもあります。この計画は、多くの町民に審
議やアンケートで参画いただいたいき策定にあ
ったものであり、私の町政運営の基本理念
であります「郷土愛に燃え、明るく豊かなま
ちづくり」を推進していくための指針となる
ものであります。この計画に基づき人口減少
対策はもろろんのこと、長期的な視点に立っ
た行財政運営に努めてまいりますので、町民
の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお
願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を
心からお祈り申し上げます、新年のごあい
さつといたします。

先人に感謝し、

たくましく優しい町を次世代につなぐ

雄武町議会議長 橋詰 啓史

平成30年の新しい年が明けました。
町民の皆さまにおかれましては、穏
やかに新年をお迎えのこと、心より
お慶び申し上げます。

旧年中は町議会に対しまして、深
いご理解と温かいご支援、ご協力を
賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、1月にアメリカでトラン
プ大統領が誕生し「アメリカ第一主
義」を掲げ、数々の政策を打ち出し
ました。また、北朝鮮がミサイル発
射の挑発を繰り返す一方、中東を始
めアメリカ・ヨーロッパなど世界各
地でテロが発生するなど、緊張の高
まりを強く感じる一年でした。

我が国では9月に衆議院解散、10
月の総選挙で自民・公明両党で3分
の2の議席を得て大勝致しました。

雄武町の昨年を振り返りますと、
農業においては複数の法人が新たに
設立され、牛舎など大規模な施設を
建設しており、今後の生乳生産増加
に期待が高まります。

漁業は、鮭の水揚げ量が前年を下
回った他は主力のホタテ魚など前年
を超え、全体の水揚げ金額は前年を
上回っております。

一方、水産加工業においては、原
料の不足と、調達価格上昇により3
年連続で厳しい年になりましたが、
本年はホタテの資源量回復との調査
報告もあり、海明け後の漁模様は期
待しているところです。

本年は、明治新政府が明治2年に
北海道開拓史を開設し蝦夷地を北海
道と改称してから150年を迎えま
す。先人の方々が厳しい北海道の自
然と戦い、大変な困難と向き合い開
拓を続けて現在の北海道や雄武町の
発展を成し遂げてきた歴史がありま
す。私たちは、改めて故郷の歴史を
学び、町の礎を築いてくれた方々に
想いを馳せてその努力に感謝するこ
とにも、手堅くたくましい産業を構
築し、安心して故郷雄武町に住み続
けられる優しい町を次世代に継承す

る事が重要と考えております。

本年度から第6期雄武町総合計画が開始さ
れる事になりますが、魅力あるまちづくりを目
指し、我々議会としても、少子高齢化、人口
減少、各産業の担い手不足など多くの課題に
対してこれまで以上に町民・行政・議会が密
接に連携して、町民の代表としての自覚を持
ち、その職責を果たすために全力で努力する
所存です。

本年も、議会に対しまして、より一層のご
理解とご支援をお願い申し上げますととも
に、町民の皆さまにとりまして、より良い一
年になりますよう心からご祈念申し上げます
と念頭に当たってのごあいさつといたしま
す。

雄武町長と雄武町議会議長が語る

成年の誓い

